

アクション・京都 NEWS



2月19日演説会&デモ370人 雨模様の中「9条改憲阻止・辺野古基地建設反対・自衛隊へ個人情報わたすな」と訴え



2月19日「戦争をさせない1000人委員会京都連絡会」が呼びかけ、「京都憲法共同センター」「安保法制廃止をめざす市民アクション@きょうと」の共同で「演説会(スピーチ)&デモ」が開催され、雨模様の中370名が参加しました。安倍首相は年頭から改憲への意欲を見せていますが、わたし達の署名や活動によって、改憲案を国会に発議できる状況を作れていません。国民の多くが「改憲を優

先すべき課題とは考えない」と世論調査でも示され、改憲策動は困難を増しています。しかし、安倍首相は各小選挙区支部に推進体制を作るよう指示。自衛隊の隊員募集に地方自治体が全面協力しない事を敵視し、「だから憲法を変えなければいけない」と発言し、地方自治も個人の職業選択の自由も個人情報も自衛隊の下に置く、安倍首相がねらう改憲の本質を示しています。

スピーチは、京都1000人委員会大灣さんとノー・ベース京都の会の増野さんが、「今沖縄で行われている県民投票を成功させ、圧倒的多数で辺野古の基地建設反対の意思を示そう。建設を強引に進める政府の民主主義蹂躪の姿を明らかにしよう。そのためにも本土からの支援をしよう」と訴えました。市民アクションからは光永さんが(私たちの個人情報守って!市民の会)京都市が、18歳と22歳の個人情報を宛名シールにして自衛隊に渡そうとしている問題に対し、母親の立場から「子供に京都市のやろうとしてい

る事を話すと、自分の個人情報を勝手にわたされるのはいやだ」と応えたので、条例にもとづいて停止請求をした。ところが窓口であれこれ言われなかなか受け取らない。子どもの気持ちははっきりしていたので提出できたが、京都市は誰に向いているのかわからない。対象となる子どもたちの声を聞いてほしい」と訴えました。最後に岩佐弁護士が自衛隊へのタックシール提供に反対してともにたたかおうと訴えました。

わたしの個人情報守って!市民の会 第一次署名3498筆提出し申し入れ 記者会見を行い、引続いて署名やデモなど企画



「わたしの個人情報守って!市民の会」は2月末から3月に市が自衛隊に宛名シールを提供するとの情報から、21日午後1時から京都市に「京都市は18歳・22歳の宛名シールをわたすのをやめてください。個人情報個人のもので」とする電子署名の、第一次分3498筆を提出しました。またこの間の交渉や個人情報

の提供停止請求などを通じて、市議会で「停止請求事案に該当しないが申し出のあった人の情報は渡さない」と答弁し、市のホームページに突然「自衛官募集事務に係る対象者情報の提供について」との広報が開始されました。このため署名とともに、「いやだと言う人を条例規定とは別に外すなら、どんな形でも意思表示した人ははずし、対象者一人一人に聞くべきだ。広報を突然始めたが、市民新聞などでも知らせ、広報してすぐにわたすな。安倍首相が発言したことによって政治問題化している。過度な付度をやめよ」などの申し入れを行いました。その後記者会見を行い、停止請求した母親から親の思いや子どもの声が報告されました。引き続き電子署名とともに紙ベースの署名も作り拡散して集める事としました。また3月4日月曜6時30分から市役所前でのスピーチと市役所一周デモを行う事としました。

◇3・2春の大学学習会 (講演:渡辺治さん/京都九条の会呼びかけ)

3月2日(土)午後2時~4時30分 龍谷大学深草キャンパス

3000万署名到達 392,407筆 2月12日到達

発行:「安倍9条改憲 NO! 全国市民アクション・京都」

連絡先:〒612-8081 京都市伏見区新町11丁目365 憲法9条京都の会

FAX 075-603-8135 メール action.kyoto@gmail.com

振込口座(ゆうちょ銀行)全国市民アクション・京都 (番号)00960-5-173844